

Technopia

浜松工業会浜松支部同窓生の記録



浜松工業会 浜松支部 会報

87号

SPRING 2025

(予定)2025年度 浜松支部総会

開催日：2025年5月17日(土)
会場：ホテルコンコルド浜松

予 定	総会	14:00～15:00
	記念講演会*	15:20～17:00
	懇親会	17:30～19:30
会 費	総会・講演会	無料
	懇親会	10,000円(仮) 若手割引あり

*記念講演会は(公財)浜松科学技術研究振興会の支援を受けて科学技術交流会として開催いたします。

記念講演会

「見えないリスクのコントロールとR-Map」

講 師：製品安全コンサルタント(R-Map 提唱者)

元 日科技連R-Map実践研究会統括主査

元 (独)製品評価技術基盤機構(NITE) 技術顧問

松本 浩二 氏(まつもと・こうじ)



【講演概要】

安全は、社会が求める許容可能なレベルまでリスクを低減することにより達成される。1990年に制定されたISO/IEC Guide 51によるリスクアセスメント指針は、世界標準として国際規格や各国の国内基準に適用されてきた。日本は、既存の国内技術基準と世界共通の国際基準のどちらの適用も認めるダブルスタンダードにした分野が多く、先進国では例外的である。R-Map (Risk Map、アールマップ)は、日科技連の異業種による研究会において作成されたリスクアセスメント手法で、国際規格をベースとした定量的なリスクアセスメントに特徴がある。経済産業省や消費者庁では製品事故のリスク評価に導入し、すでに数万件の分析事例がある。ISO/IEC Guide 51の制定からすでに30年余りが経過したが、これまでの知見をもとに、R-Mapを有効活用して上での重要なポイントについて概説する。

【プロフィール】

1972年 静岡大学工学部機械工学科卒業(47M)

1972年 (株)東芝入社、医療機器部門で製品開発及び製品安全マネジメント業務を担当。

2005年 日科技連でR-Map実践研究会を主宰(～2018年)。

2007年 東芝グループ退職後、(独)製品評価技術基盤機構(NITE)の技術顧問として経済産業省のR-Map導入を支援(～2013年)。

厚生労働省及び経済産業省で、「リスクマネジメント」、「リスクアセスメント」講師。

各種工業会、企業でのリスクアセスメント講師や、企業における、製品安全活動を支援。

元浜松工業会栃木支部長(2011年～2017年)。

著書等：

[1] 共著：日科技連R-Map研究会編著、R-Map実践ガイダンス、日科技連、2004。

[2] 松本浩二著、R-Mapとリスクアセスメント(基礎編)、日科技連出版社、2014。等

申込方法	メールにて[回答フォーム]の内容を記載していただき下記宛先までご送信ください。記念講演会は、ご家族・ご友人・同僚など一般の方も、浜松支部会員ご同伴のもとでご参加いただけます。
申し込み締切日	2025年4月19日(土)
浜松工業会 浜松支部 事業委員会メールアドレス Jigy01@sanaruhama.org	

【回答フォーム】

- ①ご氏名
- ②卒年度
- ③卒業科
- ④メールアドレス
- ⑤総会： 参加 又は 不参加
- ⑥記念講演会： 参加 又は 不参加
- ⑦懇親会： 参加 又は 不参加

10月5日(土) 第2回役員会・意見交換会

4月20日(土)の第1回役員会に続き、10月5日(土)に佐鳴会館1Fホールで第2回役員会が開催されました。

コロナが終息して、以前の通り対面での開催と致しました。

約40名と多くの方々に参加いただき、活発な議論が行われました。

まず鈴木支部長の挨拶に続き浜松工業会会長 岩田様のご挨拶をいただきました。その後、各委員会から活動の中間報告を行いました。参加の皆様には、ほぼ計画通りの活動が出来ている事をご確認いただきました。



鈴木支部長ご挨拶

その後、昼食をとりながら、支部長の司会で活発な意見交換会を行いました。



第2回役員会の様子



岩田会長ご挨拶



意見交換会(昼食)

意見交換会の議論

1. 支部長ご発言要旨

企業団体幹事・会員や個人会員が支部活動に気軽に参加できるよう同窓会活動を進めてゆきたい。
若手会員の積極的な参加を促し、浜松支部の高齢化に対して同窓会活動の活性化してゆきたい。
ここでは、現実を見据えながらの議論や、皆様からのご意見・アイデアを紹介いただければと思います。

2. 議論の内容抜粋

工業会認知度:低い もっと宣伝必要

OB訪問(工業会とのつながり)、就活応援

表彰制度活用(サークル支援で繋がりを作る)、

学生支援課活用、異業種交流会実施、会社の展示会検討、

入学式・卒業式での工業会イベント検討、テクノフェスタ活用

工業会組織：年代別アプローチ、女性幹部(役員)の任命、同窓会参加のメリット打ち出し
懇親の場：グランド横のバーベキュー場の有効活用

第27回テクノフェスタ

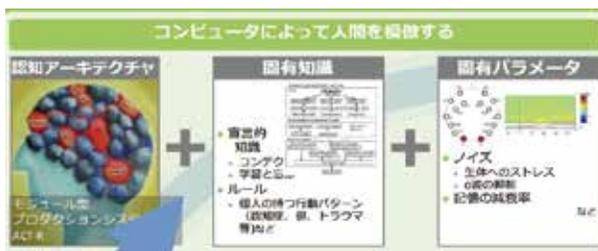
昨年に引き続き静岡大学浜松キャンパスでテクノフェスタが11月9日と10日に開催されました。一般市民の方、ご家族連れも多数来場され、賑やかなテクノフェスタになりました。

テクノフェスタには、「研究室公開展示」と「おもしろ実験」「キッズサイエンス」などがあり、「研究室公開展示」では研究室の学生の皆さんが、研究内容を一般の方にもわかるように丁寧に説明していました。また、ペットボトルロケットづくりやキッズ自作ミニ四駆走行レースなどのコーナーでは、歓声があがっておりました。

記事担当が訪問した「研究室公開展示」の中から紙面の都合上2つ紹介します。

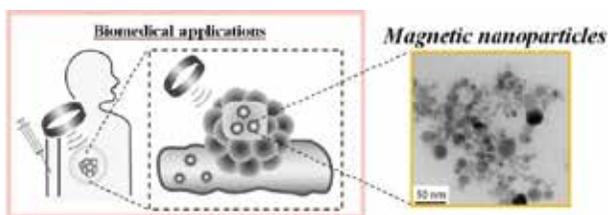
【研究室公開展示 行動を生み出す心の情報処理モデル 情報学部 森田研究室】

人間の行動を再現するコンピュータプログラムの開発にとりこんでいる。人間の行動を情報技術により定量化し“心”のモデル化を実現している。モデル化データを組み込んだロボットが、ボディランゲージ(例:両腕を広げ“大きい”を表現)をしているのを見て、人間そっくりと驚きました。



【研究室公開展示 磁性ナノ粒子の磁場応答 電気電子工学系列 大多研究室】

磁性ナノ粒子はナノ(10⁻⁹)メートルオーダーのサイズを持つ、磁気を帯びた粒子で、例えば、磁性ナノ粒子を体内に投与してがん患部に送り、外部から交流磁場を加えて磁性ナノ粒子を発熱させることで、患部局所でのがん温熱治療を実現できる。



この手法は、抗がん剤のような副作用や手術による身体的負担が少ない。浜松医科大学 光医学総合研究所田村和輝先生と共同研究されていると聞き、今後、益々浜松医科大学との医学・工学・情報学連系の研究が進むことを期待しました。

(記事担当 組織委員長 鈴木 宏保 記)

2024年 ホームカミングデー

ホームカミングデーは、浜松工業会事務局(静岡大学工学部・情報学部同窓会)が主催し、卒業生が一年に一度、浜松キャンパスに集まり互いの絆を深めることが目的です。

その行事として、静大祭及びテクノフェスティン浜松が開催中の11月9日に、特別講演会1「ヤマハ株式会社の研究開発紹介」講師：鈴木 克典 様 ヤマハ株式会社 研究開発統括部 基盤研究開発部 主席技師 特別講演会2「有人宇宙活動～宇宙で暮らすために」講師：土井 隆雄 様 宇宙飛行士、京都大学特定教授が開催されました。静岡大学工学部・情報学部卒業生や一般の方が多数参加しました。両講演合わせて2時間以上にわたる長時間の講演にもかかわらず、興味つきない講演内容であったという間の講演でした。また、講演後の質疑応答でも、来場者から両講演者へ活発な質問がありました。

11/10に情報学部2号館3階 大会議室で行われた情報学部ホームカミングデーには、浜松支部から6名が参加し、学生・OBとの活発な意見交換が行われました。珈琲研究会からは、淹れたてのホットコーヒーの提供もありました。

特別講演会1「ヤマハ株式会社の研究開発紹介」

講師：鈴木 克典 様

ヤマハの歴史は1887年、創業者である山葉寅楠がリードオルガンの修理をきっかけとして、オルガン製作に成功したことに始まり、以来130年以上にわたって、楽器を中心とするさまざまな製品・サービス(人生必需品)の提供をつづけており、今回は特に本社(浜松市中沢町)内にあるヤマハイノベーションセンターでの「技術と感性」の掛け算から生まれる多くの革新的技術・商品の紹介がありました。たとえば、音楽生成AIツールをつかって音楽を自動生成する技術、機械学習を繰り返して上手になっていくロボットドラマー、話題になった「AI美空ひばり」で活用されたヤマハの歌声合成技術「VOCALOID:AI」などのお話をいただきました。ヤマハが目指す「AIは人を排除するものではなく寄り添うもの」の言葉が心に残りました。



特別講演会2「有人宇宙活動～宇宙で暮らすために」

講師：土井 隆雄 様

土井様がJAXAの訓練服(ブルースーツ)で登壇されました。土井様は1997年スペースシャトルコロンビア号で日本人初の宇宙船外活動をされた宇宙飛行士で、スペースシャトルエンデバー号の打ち上げや帰還、船外活動の様子の美しい写真をスクリーンに映して臨場感たっぷりにお話しされました。次に、国際宇宙ステーション(ISS)について紹介されました。ISSは地上から約400km上空に建設された巨大な有人実験施設(サッカーフィールドくらい大きさ)で無重力環境を利用した種々のサイエンス実験(例:米発芽実験)が行われています。



講演後半には有人宇宙学について紹介がありました。有人宇宙学は人類が宇宙に恒久的に進出できる持続可能な社会基盤を構築するための学問で、宇宙居住研究や宇宙・地球探査技術研究などの紹介がありました。講演の最後に「宇宙を目指す」ことは、地球のすばらしさ 人間のすばらしさ 宇宙のすばらしさ に基づくものでそこから成長が生まれ平和が実現する(紛争は成長時には生まれない)との土井宇宙飛行士からの言葉が印象に残りました。

(記事担当 組織委員長 鈴木 宏保 記)

第56回 佐鳴会全国ゴルフ大会

2024年11月10日(日)にホテルコンコルド浜松にて前夜祭を開催。23名の出席と、福田工学部長と笹原情報学部長にも出席頂きました。皆様の近況報告では、仙台支部の生形様より東北地方各県の状況を報告して頂き、また東京支部の永野様より関東地方の支部統合の報告をして頂きました。余興では、ゴルフのルールに関するクイズを行い、大いに盛り上がりました。

翌11日(月)に浜松市天竜区の「浜松カントリークラブ」におきまして、第56回佐鳴会全国ゴルフ大会が開催されました。危惧されていた天候も集合時には雨も止んでおり、午後からは晴れて天候に恵まれる大会となり、参加者32名の日頃の行いの良さが垣間見られました。



前夜祭で記念撮影



ゴルフ大会 記念写真

競技の結果は

優勝 小笠原さん(48M、浜松支部)

準優勝 小川さん (98E、静岡支部)

3位 池谷さん (46E、静岡支部)

ベストグロス優勝者の小笠原さんでスコア80でした。グランドシニア(75歳以上)の部では、優勝は高井さん(42K、浜松支部)、準優勝は久保田さん(46M、愛知支部)、3位は森田さん(46K、愛知支部)でした。

今回の賞品は全国共通商品券と参加賞としてうなぎパイを用意いたしました。

最後に次回幹事の愛知支部を代表して山口様(45K)より第57回大会は2026年11月10日に開催する旨、報告がありました。

ご参加の皆様並びに関係者の皆様方のご協力のもと、無事に開催でき皆様楽しんで頂きましたこと、心から感謝申し上げます。



優勝の小笠原さん

ウォーキング& ライブ交流会

2024年11月16日、ウォーキング&ライブ交流会が浜名湖ガーデンパークで開催され、ご家族様同伴も含め、約60名の方が参加しました。



鈴木茂人 浜松支部長がガーデンパークの見どころも交えてご挨拶。入念な準備運動の後、約1時間のウォーキングを行いました。



ウォーキング後は、静大浜松キャンパスのビッグバンドサークル「Jazz Phenomena」による演奏会が行われ、お弁当を食べながら演奏を楽しみました。



新年会



2025年2月1日(土)にミュゼ四ツ池にて新年会が開催されました。

鈴木茂人支部長の開会の挨拶の後、講師に方広寺の教学部長をされている巨鳥善道様を招いて講演会を催しました。演題は「禅の言葉に学ぶ」で、素晴らしいお話を静かに寄り添った内容に仕上げとお話して頂きました。

懇親会は福田工学部長、笹原情報学部長、木村電子工学研究所所長の挨拶に続いて、岩田工業会会長の乾杯で開始されました。



スペシャルゲストにヤマハ発動機電動アシスト自転車開発責任者の藤田武男様にプロジェクトXの裏話をお話して頂き、開発の苦労とは違った撮影の苦労話を披露して頂きました。



締め挨拶は立岡工業会理事長に行って頂きました。



趣味の会 会員募集

「佐鳴ゴルフ会」「ニュー佐鳴会」会員募集

- ・佐鳴ゴルフ会は昭和42年に浜松工業会浜松支部のゴルフ愛好者の親睦組織として発足しました。現在は例会を毎月第3水曜日に浜松カントリークラブにて開催しています。平日料金でプレーが楽しめます。
 - ・ニュー佐鳴会は昭和52年、当時はゴルフブームで予約が取り難い時代でしたので、佐鳴ゴルフ会の会員の一部が中心となって前年オープンした豊岡国際カントリークラブにて発足しました。現在例会を毎月第3日曜日に同クラブにて開催しています。
 - ・両会の合同コンペを毎年10月にホームグラウンドを交互に替えて開催して、会員相互の交流を図っています。
- 2024年は佐鳴ゴルフ会の担当で浜松カントリークラブにて開催し、20名が参加して親睦を深めました。
- ・両会共に近年高齢者が多くなり、会員も減少傾向ですので、新しい会員を募集しています。
 - ・ゴルフをされる浜松地区の皆様、即入会でなく、お試し参加もできますので、一緒にゴルフを楽しみませんか。
- ご連絡をお待ちしております。

佐鳴ゴルフ会 会長 高井 真一
[sstakaikibune1970@yahoo.co.jp](mailto:ssatakaikibune1970@yahoo.co.jp)

ニュー佐鳴会 会長 岡本 将秀
mokamoto@wish.ocn.ne.jp



佐鳴グリークラブ 会員募集

- 静岡大学OBグリークラブ(団長 44D 大山哲政、母校支部、関東支部、関西支部で合計 約60名)の母校支部約20名がメンバーです。浜松工業会浜松支部懇親会や静岡県合唱祭があると各支部から応援が駆け付けます。その他白馬合唱祭や東京男声合唱フェスティバルにも参加します。
- 母校支部の練習は、浜松を主に毎月一回第2又は第3日曜日が多いです。会場の都合等で多少変わります。
- 昨年6月スウェーデン・リトアニアへの演奏旅行を無事成功させることができました。過去の海外演奏旅行の実績は、台湾3回・欧州4回となりました。今年の予定は未定です。
- 現在団員募集中です。合唱未経験者でも大丈夫です。ご連絡をお待ちしております。

連絡先 深津 勲己
fukatsui@diamondo.broba.cc

結婚相談室近況 益々盛況です!



刷新したホームページ スマホ画面版

私たちがこの相談室の運営を引き継いでから、丸3年が経過しました。この間、結婚に至ったカップルは計6組となり、たいへん嬉しい成果です。

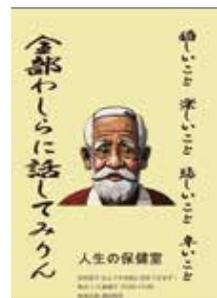
昨年度・今年度と、2年連続で浜松北高校の結婚相談室ともコラボ活動を継続し、アビーチャーチやラブルマンカフェを利用した合同婚活パーティーも好評で、多くのお付き合いに発展中です。また、2015年に立ち上げたホームページも、現役学生の活躍で今年度はじめに刷新することができました。時代のニーズに合わせて、スマホでもパソコンでも見やすく、情報学部生のセンスが光る構成です。是非一度、覗いて見て下さい。

Uターン相談室近況 企業訪問、学内での広報活動推進中

毎年、協力企業様全社に対し、訪問活動を続け情報交換を行っていますが、残念ながらUターン希望者が減少しており、協力企業様への期待に応えられない状況が続いています。

一方、企業様からは、業務の取組みに関する相談や大学とのコネクションの模索などUターン以外の相談もあり、相談室として協力できる内容については対応させて頂いております。今後も情報交換を密にし、Uターン活動と併せ企業様のご要望に応える活動に取り組んでゆきます。

在学中からUターン相談活動を認知してもらうために、学内での広報活動に力を入れてきました。ロボコン、駅伝大会などの学内行事への協賛と共に一昨年より始めた「人生の保健室」も少数ながら訪問者が出て来ています。地道な活動ですが、同窓生に相談室を知ってもらえるように継続してゆきます。



行事予定一覧(案)

行事日程

年度	2025年度												
	2024年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
支部総会 / 講演会				☆5/17(土) ホテルコンコルド浜松									
役員会			☆4/19(土) 第1回佐鳴会館ホール						☆第2回 佐鳴会館ホール				
顧問会議			☆4/5(土) 佐鳴会館ホール										
合同委員会		☆3/8(土) 生協2F											
Technopia 発行		☆3/8(土) 春号								☆11月上旬 秋号			
交流会								☆異業種交流会		☆ウォーキング&ライブ			☆鉄道の旅
新年会												☆新年会	
大学行事				☆5/31(土) 駅伝大会						☆11月上旬 大学祭&テクノフェスタ			

[浜松支部]

支部会費納入のお願い

浜松工業会浜松支部の活動費は、会員の皆さまに納入いただいた会費で賄っています。
支部活動を維持活性化するために、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。
会費の納入方法等は以下のとおりです。

(1) 会 費 1,500円/年

(2) 納入方法 以下の3つの方法のいずれかで納入してください。

① 郵便振込み	【土日(9:00~17:00)も、ゆうちょ銀行ATMで振込できます】 口座番号：00890-5-4382 口座名：浜松工業会浜松支部 *振込料金加入者負担(赤色)の用紙をお使い下さい。 *郵便振込手数料は浜松支部負担。
② 静銀口座への振込み	銀行名：静岡銀行 成子支店(店番:363) 口座番号：普通0137545 名 義：浜松工業会浜松支部 会計幹事 *銀行振込手数料は、ご負担をお願いします。
③ 現 金	勤務先の浜松支部役員(企業幹事)に現金にて納入 企業幹事の方は、企業単位でまとめて、①または②で納入をお願いします。

(3) 浜松支部会費に関する問い合わせ先 (上記以外の納入方法をご希望の方など)

浜松支部 副支部長 会費委員長 朝倉 嘉二
E-mail: asakura.yoshiji@sanaruhama.org



編 集
後 記



花粉症の方には憂鬱な季節となりますが、皆さん体調はいかがでしょう？
私は不覚にもインフルエンザに感染して、寝込んでしまいました。免疫力が低下しているせいか、症状がひどかったです。免疫力アップのためには、適度に活動するのが良いと聞きますので、支部活動を通じて免疫力を高められれば良いなと思っています。(記 広報委員長 大石保生)

発行

浜松工業会 浜松支部

〒432-8561 浜松市中央区城北3-5-1

静岡大学浜松キャンパス内 佐鳴会館

TEL/FAX 053-473-3485

公式ホームページ(<https://sanaruhama.org/>)

公式Facebook(<https://www.facebook.com/sanaruhama/>)



公式ホームページ



公式Facebook